

THE ROTARY CLUB OF NAGOYA-CHIKUSA



WEEKLY

なごや ちくす



題字 黒野清宇

名古屋千種ロータリークラブ
 承認 1982年 8月24日
 例会日 火曜日 12:30
 例会場 愛知厚生年金会館
 事務局 TEL763-5110 FAX763-5121
 会長 小坂井 盛朗
 幹事 舎人 経昭
 会報・雑誌委員長 伊藤 健文

No.30

手を貸そう

Lend a Hand

2003~2004年度 RI会長 ジョナサン・B・マジアベ

きょうの例会

第1032回 平成16年 3月 9日(火)

愛知県千種警察・名古屋市千種消防 優良職員表彰

先週の記録

第1031回 平成16年 3月 2日(火) 晴

講演 “遠くても近い ロシア”

国際親善奨学生 メテリョフ・ナターリアさん

◆“君が代” “それでこそロータリー”

◆斉唱 “四つのテスト”

◆出席報告

会員	64(54)名	出席	39名
出席率	72.22%		
前々回	2月17日(修正出席率)	96.36%	

◆ゲスト紹介

国際親善奨学生	ナターリアさん
青少年交換学生ホストファミリー	浅野 まき様
青少年交換学生	ブリジットさん
元、千種RC会員	松島 孝彰様

◆3月会員誕生日

奥本 文也君 (3/6)	舎人 経昭君 (3/19)
竹内 眞三君 (3/20)	成田 良治君 (3/21)
池森 由幸君 (3/30)	水谷 祥督君 (3/30)
水野 民也君 (3/31)	

舎人幹事報告

- 河合隆二君が東京(池袋)へ転勤されました。後任の方は3月中旬よりお見えになります。
- ロータリーの友・ガバナー月信と抜萃のつづりが来ておりますのでお帰りにお持ち下さい。

◆米山功労者 感謝状授与

伊藤健文君、池森由幸君、水谷祥督君、和田正敏君に会長より感謝状が手渡されました。

小坂井会長挨拶

人なつこい善人なソビエトの民間人

畑仕事の手伝いに駆りだされた我々は一日の仕事を終え、字引を破いた紙に煙草をくるみ焚火を囲んで一休みしていた。

早春のシベリアに夕暮れが近づく。やがて地平線が真赤になって日が落ちる。ソ連人農夫が長い鎌を肩にあちらのホルホーズ(国営農場)こちらのホルホーズから一日の農作業を終えてご帰還である。夕焼けにそのシルエットが美しくまるで絵のように思えた。

やがて焚火を囲んでいる我々に近づいて来た彼女らは、何とニコニコしながら声を掛けてきた。

「ヤポンスキー、タワルシチ、ダワイチェナ・ダンツ」

同志・日本兵と一緒にダンスを踊りましょうよ。さあいらっしゃい。と言う意味である。これは明らかに敬語なのだ。タワルシは同志だが、タワルシチと変わると同志さんとなる。又、ダワイと言うと「来い」だがダワイチェと言うと「いらっしゃい」とか「来て下さい」となるのだ。これには驚いた。我々日本人の場合は、ほとんどの人が敵の捕虜は悪党・蛇蝎のように思って、声を掛けるどころか、侮蔑の目つきで眺め、敵意まる出しが当たり前と思っている。だから同志なんて声掛けをする事など思いもよらない事だ。

彼女らはアッケに取られ躊躇している日本兵の手を取って「イジーダワイチェ」と言って踊り出すとすかさず音楽が鳴る。男性ソ連人農夫が小さな手風琴(アコーディオン)を出して奏でしてくれるのだ。ダンスなんてした事ない日本兵ばかり。しかし、大柄なロシアンジボチカ(ロシア娘)に振り廻されてのダンス曲は皆知っている「カチューシャ」だ。曲に合わせてとにかく一緒に踊る。何か変な気分であったが、アケラカンのロシア女性に色々話しかけられ、良く判らないが、ところどころが判る。その内だんだん楽しくなって来て、笑い声が、夕暮れの大地にこだまする。

身振り手振りで焚火を囲んでのダンスと会話に徐々に捕虜の身分を忘れさせてくれた一刻であった。

◆講演

“遠くても近い ロシア”

国際親善奨学生 メテリョワ・ナターリアさん



皆さん、今日は。去年の3月24日から皆様にお世話になったり、相談に乗っていただいたりと心から感謝しています。

ロシアの大学で5年間日本のことを勉強しましたが、実際違う事がたくさんあります。今からロシア人の目で見た日本の事や時々日本人を見て不思議に思った事をいくつか挙げていきます。

- ・男性がレディファーストではありません
 - ・男女ともアイロンを使う人は少ないです
 - ・日本ではマンガを読んでいる人が多くマンガを読むことが読書だと思っている人が多いです
 - ・アルコールの度数の違うお酒を一度に色々飲む人が多いです（ロシアでは度数をじょじょに上げて飲みます）
 - ・こちらが見ていない時はじっと見ているのに、目を合わすと見ていないふりをする人が多いです
 - ・地下鉄、電車で新聞、雑誌、携帯のメール等、のぞき見をしている人が多いです
 - ・日本では知り合い以外に挨拶も会話もしません
 - ・カンパイは一度しかありません
 - ・日本はごみの分別をしないといけません
 - ・家族以外の親しい友人が少ないと思います
 - ・シンモツ等、お返しをするという風習がロシアにはありません
 - ・早起きをする人が多いです
 - ・カラオケが上手な人が多いです
 - ・テレビ、メディアを使った首相の年頭の挨拶がありません
 - ・ホームパーティをあまりやりません
 - ・ロシアでは文字を書く時はペンを使う人がほとんどで、鉛筆は使いません
- 次にロシア人と日本人の同じところを述べます。
- ・栄養ドリンクを飲む人が多いです
 - ・愛国心が強いです
 - ・音楽で感情を表す人が多いです
 - ・両親を大事にしている人が多いです
 - ・親しくなったら親切にしてくれる人が多いです
 - ・自然を大事にする人が多いです
 - ・頑張り屋さんが多いです
 - ・ロシアではワビサビ、物のあわれ、一期一会などの日本的な言葉と同じ意味の言葉があります
- 次は日本人がロシア人を勘違いしているところを述べます。
- ・ロシア人は寒いから70度のVODKAを毎日飲んでいていると思っています
 - ・日本のロシアンティーにはマーマレードやジャムが

入っていますが、ロシアでは入っていません
・ロシア人は皆コザックダンスをすると思っています
・プーチン大統領はあやしいと言う人が多いです。目つきが悪いとよく言われます
今からロシアの冬の行事の説明をします。

日本では12月25日はクリスマス、31日は大晦日、1月1日はお正月です。ロシアでは1月1日はお正月、1月7日がクリスマス、そして1月14日は旧正月です。

ロシア正教では1月7日がキリストの誕生日とされています。

12月20日から30日の間に家族全員で森に行き、今年使うTREE（松）を切りに行きます。家に持ち帰りクリスマスツリーのように星やボールなどをみんなで飾ります。去年の飾りに毎年新しい飾りを増やし飾りに年数を入れたり名前を書いたり願い事を書いたりします。ロシアではプレゼントを寒さおじいさん（サンタクロース）、雪子（孫娘）、うさぎ、きつね、リスからもらえるのです。たくさんのプレゼントでツリーの周りはあふれています。

31日の夜は全員が集まり大統領の挨拶で新年を迎え大統領の乾杯の音頭で新しい年を祝います。HAPPY NEW YEARを祝った後、友人宅へ遊びに行ったり、町へ出て遊びます。多くの子供達がこの日だけは朝まで思いっきり遊びます。

1月7日はクリスマスです。朝、教会でお祈りをし天使のカードを交換したりプレゼントを交換したりお菓子を食べたりします。ロシアでは天使は守り神と言われ、とても好まれています。

1月14日は旧正月です。1月1日と同じように町ではイベントもたくさんあり家族や友達同士で旧正月を祝います。もちろんプレゼントは欠かせません。

TREEは旧正月が終わるまで飾ってあります。たくさんのプレゼントがもらえるこの季節は子供達にとって、恋人たちにとって、家族にとって、とても楽しい素敵な季節です。

もし興味があったら必ずいつかロシアに行ってみてください。そして冬を楽しんでください。

ハバロフスクから新潟まで飛行機で1時間45分で来れます。しかし新潟から名古屋まで4時間ほどかかりロシアから日本より新潟から名古屋のほうが時間がかかります。

ロシアは遠い国ではなく、実は近い国です。これを機会に、もっと交流を深めていけば遠くても近いロシアではなく、もっと身近な国になると信じています。

ロータリーの奨学生としての生活もこの三月で終わり四月からは名古屋大学大学院の国際開発学部で国際経済と外交の関係を二年間の予定で学びます。新たなスタートの始まりです。ここまで来られたのも皆様のおかげだと思っています。

現在、語学力をいかして週に数度英語を教えています。以前はインターンシップで企業の海外事業部の仕事を手伝ったこともあります。何か私でお役に立てる事がありましたら、ぜひともご紹介ください。学費の為に頑張っていますので、どうぞよろしくお願ひします。

本日はどうもありがとうございました。

◆3月2日のニコボックスは次回掲載と致します。

次回例会

平成16年3月16日(火)

講演 “環境開運学(風水)愛地球博” NTO日中食文化交流環境協力会 会長 篠原清勝氏 (紹介 黒須さん)